

世界一傘を消費するビニール傘大国、日本の子供たちへ 国内シェア No.1 の傘ブランドが提唱する SDGs「たたむ、をひろげるプロジェクト」 ビニール傘の使い捨てと環境問題を描いた絵本 『ビニール傘と海の生きもの』を初めて傘を持つ子どもに無料配布 大切な傘にも“名前”を。ネームシールと一緒に自由が丘店・心斎橋店で 8月7日から配布開始

国内シェア No.1 の傘ブランド [Waterfront \(ウォーターフロント\)](#) を運営する[株式会社シューズセレクション](#) (東京都目黒区) は、世界でもビニール傘の消費量が多く、使い捨てが習慣化している日本人に対し、SDGs の観点から折りたたみ傘の携帯習慣を啓発する「たたむ、をひろげるプロジェクト」を 2019年6月よりスタート。第2弾として、ビニール傘をはじめとするプラスチックゴミの削減と環境問題を描いた子ども向け絵本『ビニール傘と海の生きもの』を制作し、8月7日より自由が丘店と心斎橋店で、“はじめて傘を購入する子どもたち”を対象に無料配布いたします。



置くのが大人もまだ
とつぜんの大雨のよる
たくまの傘たりのながから
どうぞん 置くのをとった



捨てられたビニール傘はどこへ行く？ オリジナル絵本で子どもたちに伝える“はじめての SDGs”

近年様々な場面で広がり魅せる SDGs の観点から、Waterfront が折りたたみ傘の携帯習慣の啓発を目的として立ち上げた「たたむ、をひろげるプロジェクト」。本プロジェクト第 2 弾として今回解禁となったのは、初めて傘を手にする子どもたちに向けて制作した“たためる絵本”『ビニール傘と海の生きもの』です。持ち主に捨てられてしまったビニール傘が新たに折りたたみ傘へと生まれ変わるまでのストーリーには、子どもたちに環境保護の重要性を訴えかけながら、日頃から使う身近なモノを “大切に長く使って欲しい”、という想いが込められています。本プロジェクトタイトルにちなんで、本の中の絵柄が飛び出すしかけを施した“たためる絵本”になっているのも特徴です。



▲鼻にプラスチックが刺さった亀



▲プラスチックに絡まって飛び立てない海鳥



▲口の中にゴミが詰まったクジラ



▲たたむ技術で小さくたたまれた傘を表現したページ



▲店頭で配布予定の傘用ネームタグ

同絵本は、**8月7日より Waterfront 自由が丘店・心斎橋店にて、“初めて傘を購入する子ども”を対象に無料配布**されます。また、絵本のストーリーになぞらえて、購入した傘とセットで配布されるネームシールに自分で考えた傘の名前を記入し、“傘を大切にすると約束してもらうこと”も配布の条件となっています。

*配布は小学生以下を対象とさせていただきます。

*配布数には限りがありますので、先着順での配布となります。ご了承ください。

コンセプトストアではスマホサイズの傘から直径 2.8 cmの傘まで持ち運びやすいラインナップが勢揃い

「たたむ、をひろげるプロジェクト」第1弾の取り組みとして、「たたむ」をコンセプトとしたデザインで今年6月にオープンした日本最大級の旗艦店「Waterfront SHINSAIBASHI / OSAKA」では、1,400種類の折りたたみ傘を含む、合計2,000種類の傘をラインナップしています。スマートフォンサイズの超小型折りたたみ傘「New モバイルフラット」や、直径2.8mm・軽さ105gとバックの中でも邪魔にならない「スマートフラット」など、日常的に使いやすく持ち運びやすさを追求した新商品も登場いたしました。また、同店では、「たたむ・ひろげる」をキーワードにした雨上がりの空と虹をイメージしたデザインのギフトボックスもご用意しています。



▲New モバイルフラット定価：2,500円（税抜）



▲スマートフラット定価：2000円（税抜）





▲ギフトボックス

「たたむ、をひろげるプロジェクト」とは？

「たたむ、をひろげるプロジェクト」は、近年世界で取り組みが活発化している SDGs に対し、日本特有の「傘の使い捨て意識」に着目して Waterfront が発足したプロジェクトです。日本では年間 1.3 億本の傘が消費され（※1）、8,000 万本がビニール傘、その消費量は世界一とまで言われています。また、折りたたみ傘の使用率は世界平均で 55%であるのに対し、日本では 21%と大きく下回る数値であることも分かっています（※2）。

こうした傘の使い捨て文化から脱却し、何度も使用可能な折りたたみ傘の携帯習慣を啓発するために、国内 No.1 傘メーカーとして Waterfront が立ち上がりました。Waterfront を運営するシューズセレクションでは年々ビニール傘の生産を削減しており、2019 年には 2017 年比で約 68%削減を予定しています。

※1：出典：日本洋傘振興協議会

※2：出典：ウェザーニューズ

